

■ 第1章 現状と課題

第1章 現状と課題

1 総社市の教育を取り巻く環境

(1) 少子高齢化

総社市の総人口は、平成19年の67,809人から平成20年の68,065人と増加していますが、平成21年では、67,834人と減少しています。

年齢3区分の人口推移をみると、年少人口は、平成19年から平成20年にかけては、減少していますが、平成21年では、ほぼ横ばいで推移しています。生産年齢人口は、平成19年以降減少しており、総人口に占める割合は、平成19年と平成21年とを比べ1.1ポイント減少しています。老年人口は、平成19年以降増加しており、総人口に占める割合は、平成19年と平成21年とを比べ1.2ポイント増加しています。年少人口及び生産年齢人口は減少傾向、老年人口は増加傾向にあり、少子高齢化の様子がうかがえます。

人口は、出生数や景気の動向などさまざまな要因によって増減が推移します。

総社市では、総数で毎年横ばいもしくは微増傾向にありましたが、近年の景気後退による外国人労働者数の減少などもあって、わずかながら減少に転じています。

なお、「第1次総社市総合計画後期基本計画」(平成23～27年度)では、平成27年度の人口及び世帯数の目標値を、68,000人、23,690世帯としていますが、総人口に占める年少人口の割合は、昭和60年の22.6%と比べて平成27年度は13.7%、逆に老年人口は昭和60年が12.8%に対し平成27年度には26.8%になると予測しています。

表1 総人口と年齢3区分人口の推移

(単位：人、%)

	平成19年	平成20年	平成21年
総人口	67,809	68,065	67,834
年少人口(0～14歳)	9,842	9,787	9,780
比率	14.5	14.4	14.4
生産年齢人口(15～64歳)	43,586	43,526	42,892
比率	64.3	63.9	63.2
老年人口(65歳以上)	14,381	14,752	15,162
比率	21.2	21.7	22.4

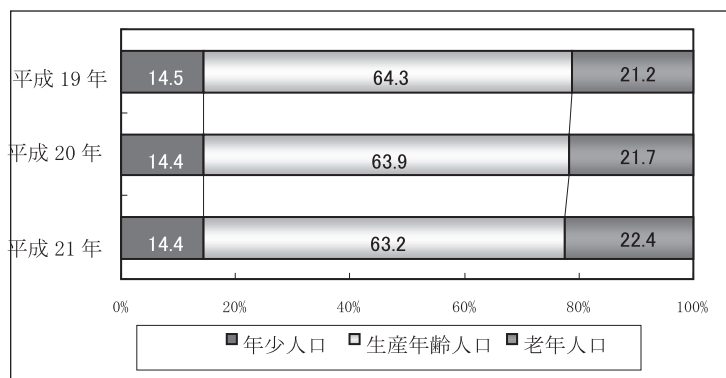


図2 総人口と年齢3区分人口の推移

(2) 園児・児童・生徒数

総社市内には幼稚園を18園、小学校を15校、中学校を4校設置していますが、その園児・児童・生徒数は、年度により若干の増減はあるものの、幼稚園では1,000人前後、小学校では4,000人前後、中学校では2,000人前後で推移しています。平成23年度から平成25年度の推計でも同様の傾向があります。

表2 園児・児童・生徒数の推移 (単位：人)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23 推計	H24 推計	H25 推計
園児数	1,128	1,111	1,083	1,083	1,008	991	1,057	1,046	1,024
児童数	3,932	3,970	3,962	3,995	4,005	4,011	3,945	3,939	3,907
生徒数	2,024	1,945	1,958	1,914	1,922	1,871	1,979	2,003	2,081

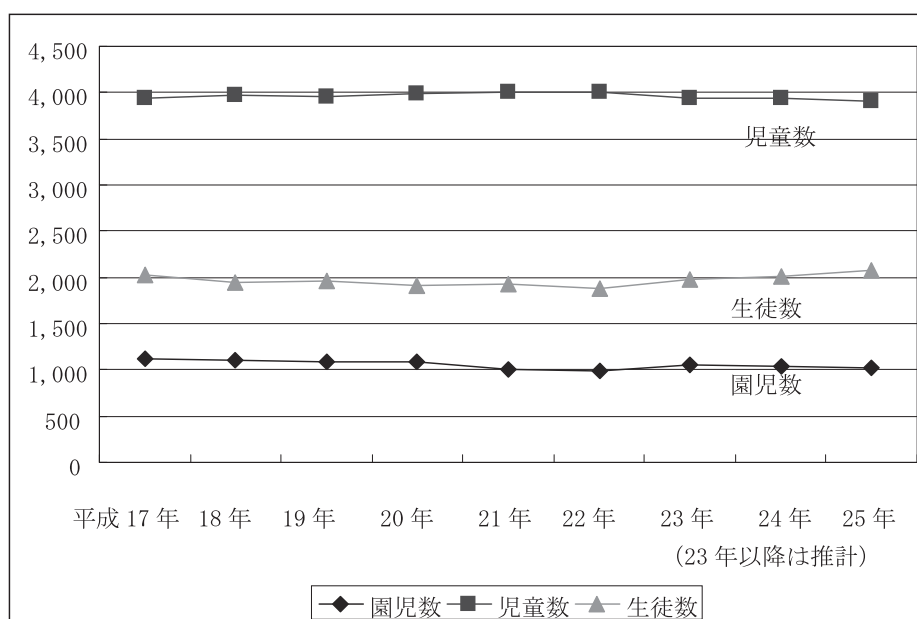


図3 園児・児童・生徒数の推移

(注) 園児数については、3歳児が該当年齢の50%、4、5歳児が該当年齢の60%が入園するとして推計していますので、平成22年度の在籍者数よりも多くなっています。

ただし、本市の場合には、常盤地区、総社地区などの市中心部への流入人口が多く、逆に周辺部では流出人口が多くなっている傾向があり、中心部への集中と周辺部の過疎化が心配されています。

(3) 多文化共生

総社市の外国人登録者については、平成2年の入国管理法の改正以降、ニューカマーを中心に急増しました。平成22年4月1日現在の外国人登録者数は1,022人で、内ブラジル人が451人（約44%）、中国人が308人（約30%）となっています。

岡山県全体（平成20年12月時点）では、外国人登録者は23,378人で、その割合は1.20%ですが、総社市の外国人登録者の割合は1.88%で県内最多です。

総社市では「定住者等」の在留資格をもつブラジル人が多く、ブラジル人の人口については県内で一番で、県内の約30%のブラジル人が総社市に住んでいます。中国人は、ほとんどが企業の寮等で生活しており、3年の研修期間で帰国するケースが多くなっています。

平成21年の景気問題等の影響により、総社市に住むブラジル人も多くが職を失い、帰国や引越しにより減少しています。

なお、平成22年5月1日現在、市内の幼稚園に在籍する外国籍の園児は2人（ブラジル人1人、ペルー人1人）、小学校に在籍する外国籍の児童は27人（ブラジル人23人、中国人2人、韓国人2人）、中学校に在籍する外国籍の生徒は11人（ブラジル人10人、韓国人1人）となっています。

表3 外国人登録者数の推移（各年4月1日現在） (単位：人)

	H2	H6	H10	H14	H18	H19	H20	H21	H22
ブラジル	3	548	379	385	760	732	669	596	451
中国	3	12	20	79	207	279	369	406	308
朝鮮と韓国	94	87	80	50	76	75	70	75	77
ベトナム	-	-	-	-	-	12	59	66	61
フィリピン	14	19	30	70	74	66	74	60	46
その他	6	83	93	72	95	104	101	96	79
合計	120	749	602	656	1,212	1,268	1,342	1,299	1,022

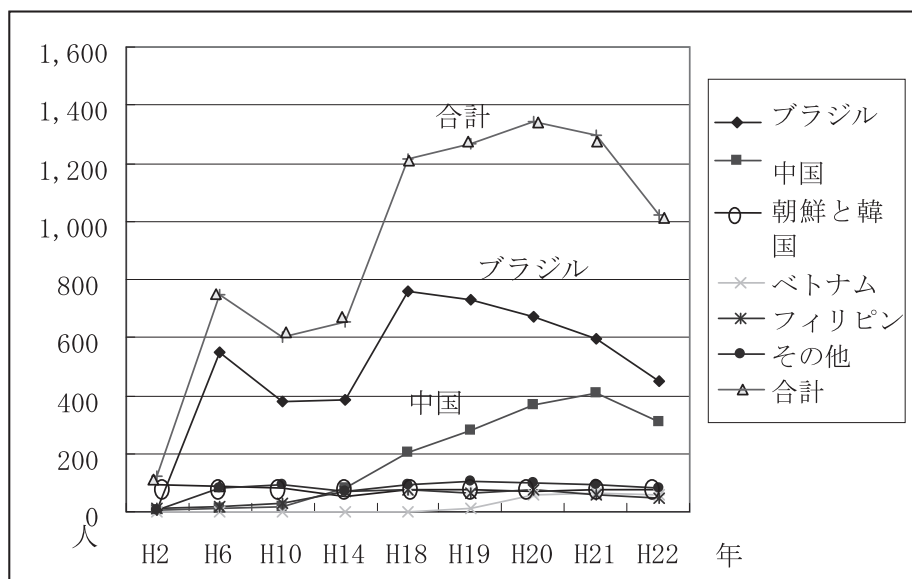


図4 外国人登録者数の推移（各年4月1日現在）